スマイルステップ Next

年金原資保証ステップアップ型

年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険（09）

特別勘定　月次運用レポート

特別勘定名称
世界アセット30型

2026年11月発行

［募集代理店］

大和証券株式会社

［引受保険会社］

第一フロンティア生命保険株式会社
〒105-0003　東京都港区西新橋1-1-1日比谷フォートタワー
ホームページ https://www.d-frontier-life.co.jp/
お客さまサービスセンター
フリーダイヤル　0120-876-126
営業時間 9:00～17:00（土日、祝日、年末年始などの休日を除く）

（登）B18F0095(2018.4.20)

投資リスクについて

この保険は、国内外の株式・債券などで運用しており、運用実績が積立金額、死亡給付金額、解約返還金額などの増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、積立金額、解約返還金額は一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

諸費用について

この保険にかかる費用は、運用期間中は「保険契約関係費」「資産運用関係費」の合計額、年金受取期間中は「保険契約関係費（年金管理費）」となります。ただし、契約日から10年未満の解約時などには、この他に「解約控除」がかかります。

運用期間中

◇すべてのご契約者にご負担いただく費用

項目	費用	時期
保険契約関係費	特別勘定の資産総額に対して 年率 2.98%	左記の年率の1/365を積立金から 毎日控除します。
資産運用関係費※	信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して 年率 0.165%（税込）	左記の年率の1/365を投資信託の 信託財産から毎日控除します。

※上記の信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、監査費用、有価証券の売買委託手数料および消費税などを間接的にご負担いただきます。

なお、売買委託先、売買金額などによって手数料率が変動するなどの理由から、これらの計算方法は表示しておりません。記載の信託報酬は当レポート発行月現在の数値であり、運用会社により今後変更される場合があります。

◇特定のご契約者にご負担いただく費用

項目	費用	時期
解約控除	基本保険金額（減額の場合は減額する部分の 基本保険金額）に経過年数別の 解約控除率（7.0%を上限）を乗じた金額	解約・減額または 「運用期間中年金支払移行特約」を付加した 時に積立金から控除します。

年金受取期間中

項目	費用	時期
保険契約関係費※ （年金管理費）	受取年金額に対して最大0.35% （10年保証期間付終身年金の保証期間経過後、 および死亡時保証金額付終身年金の場合は最大1.0%）	年金支払開始日以後、 年金支払日に控除します。

※年金額は、年金支払開始日以後、年金（死亡時保証金額付終身年金の場合の死亡時保証金額を含みます。）の支払いとともに費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。
また、保険契約関係費（年金管理費）は当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費（年金管理費）は年金受取期間を通じて適用されます。
なお、「死亡給付金等の年金払特約」および「運用期間中年金支払移行特約」を付加した場合の特約年金についても同様の取扱いとなります。

ご留意事項

＊年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険(09)は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払いの対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。
＊このレポートは年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険(09)の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
＊このレポートには年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険(09)の商品内容のご説明はございません。商品のご検討にあたっては、専用のパンフレットおよび「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際には、「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」を必ずご覧下さい。

特別勘定の運用レポート

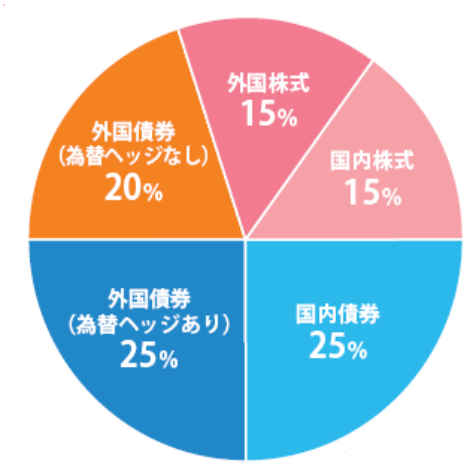
2026年10月末現在

特別勘定の内容

特別勘定の名称	主な投資対象の投資信託	運用会社
世界アセット30型	DIAM世界アセットバランスファンド4VA （適格機関投資家限定）	アセットマネジメントOne株式会社

主な投資対象の投資信託と運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
DIAM世界ｱｾｯﾄﾊﾞﾗﾝｽﾌｧﾝﾄﾞ4VA （適格機関投資家限定）	日本を含む世界の株式、公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。基本資産配分は、国内株式15%、国内債券25%、外国株式15%、外国債券（為替ヘッジなし）20%、外国債券（為替ヘッジあり）25%です。

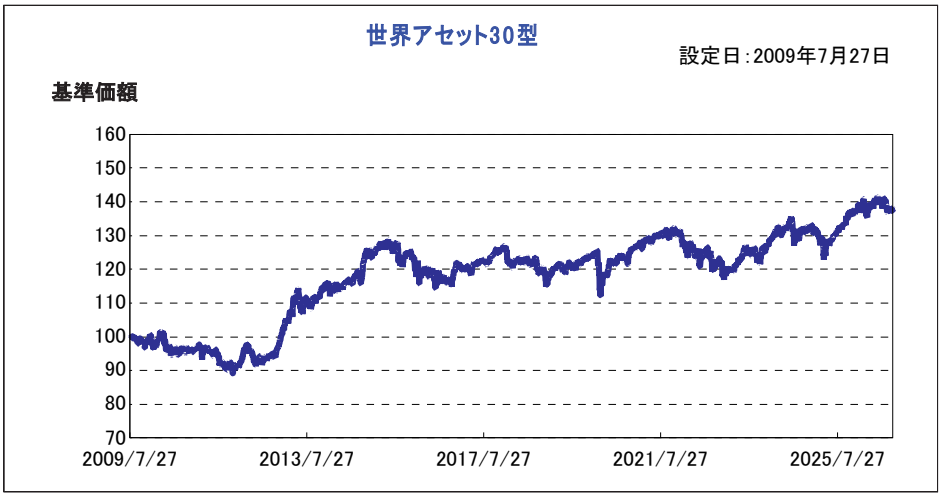


特別勘定資産の内訳

資産総額（百万円）	資産配分	
	投資信託	現預金等
1,357	99.6%	0.4%

＊特別勘定は、投資信託を主たる投資対象として運用するほか、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有しています。
＊特別勘定資産の内訳は、投資信託の購入・解約の申し込み実績を反映しております。

特別勘定の基準価額と騰落率の推移



＊非表示部分を四捨五入

騰落率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来	基準価額（2026年10月末）
	0.37%	−1.38%	−0.65%	0.55%	13.19%	37.82%	137.8202

＊特別勘定の基準価額の値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きとは必ずしも一致しません。
特別勘定が一定の現預金等を保有していることや、特別勘定の基準価額計算にあたり保険契約関係費を控除すること等によるものです。

＊年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険(09)は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払いの対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。
＊このレポートは年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険(09)の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
＊このレポートには年金原資運用実績連動保証型変額個人年金保険(09)の商品内容のご説明はございません。商品のご検討にあたっては、専用のパンフレットおよび「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際には、「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」を必ずご覧下さい。

〈参考情報〉 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】
世界アセット30型

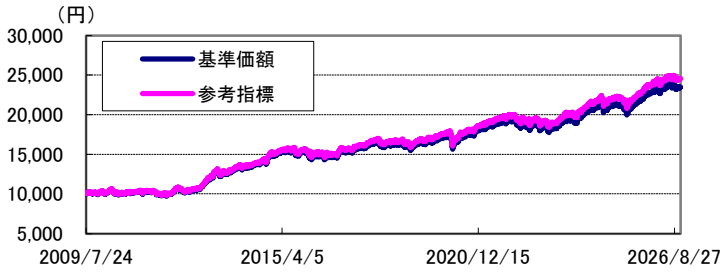
※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

2026年10月30日現在

●基準価額の推移(税引前分配金再投資)



※基準価額は税引前の分配金を再投資したものとして計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
※基準価額および参考指標は設定日(2009年7月27日)の前日を10,000円として表示しております。
※基準価額は信託報酬控除後です。

●当月末基準価額・純資産総額

基準価額	23,469 円
純資産総額	1,540 百万円
設定日	2009年7月27日
決算日	原則 毎年6月22日
信託期間	無期限

●騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	0.63%	-0.64%	0.86%	3.60%	23.85%	134.69%
参考指標	0.62%	-0.59%	0.94%	3.89%	24.90%	145.51%
差	0.01%	-0.05%	-0.08%	-0.29%	-1.05%	-10.82%

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。
※参考指標 以下の指数の月次騰落率に下記「マザーファンド組入比率」の基本配分比率を乗じた合成指数を参考指標といたします。

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)×15%、NOMURA-BPI総合×25%、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)×15%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース、為替ヘッジなし)×20%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース、為替ヘッジあり)×25%

●マザーファンド組入比率

資産クラス	主な投資対象	基本配分比率	組入比率	各資産の月次騰落率
国内株式	国内株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ(最適化法)・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	15.0%	14.6%	-3.49%
国内債券	国内債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	25.0%	25.1%	1.76%
外国株式	外国株式ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	15.0%	15.1%	0.88%
外国債券	外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	20.0%	20.1%	1.41%
外国債券(為替ヘッジあり)	為替ﾌﾙﾍｯｼﾞ外国債券ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ	25.0%	25.1%	1.26%
現金等	―	―	0.0%	―
合計	―	100.0%	100.0%	0.63%

※比率は純資産総額に対する割合です。
※計理処理の仕組みにより直近の追加設定分が反映されないことなどから、ファンドの組入比率と基本配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
〇当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
〇投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
〇当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
〇当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
〇投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界アセット30型

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

■DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)の主たる投資対象である投資信託の運用状況

【資産クラス】	【マザーファンド】
国内株式	国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド

2026年10月30日現在

※比率は組入株式評価額に対する割合です。
※株式には新株予約権証券を含む場合があります。

●純資産総額

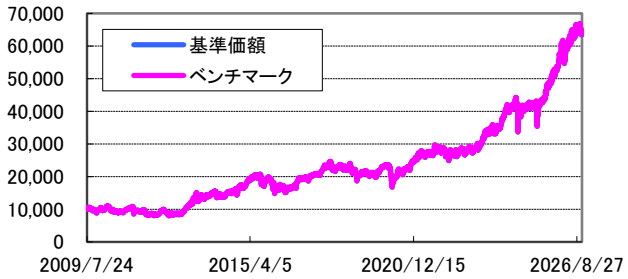
907,634 百万円

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ﾌｧﾝﾄﾞ	-3.49%	-0.04%	7.51%	21.69%	88.77%	534.41%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	-3.48%	-0.04%	7.54%	21.71%	88.79%	535.03%
差	-0.01%	-0.00%	-0.03%	-0.02%	-0.02%	-0.62%

※設定来の騰落率は設定日(2009年7月27日)前日を基準に算出しています。
※ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。

●基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは設定日(2009年7月27日)前日の値を10,000として指数化しております。

●組入上位10銘柄

(組入銘柄:1660銘柄)

No	銘柄	業種	組入比率(%)
1	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	3.77
2	トヨタ自動車	輸送用機器	2.65
3	リクルートホールディングス	サービス業	2.60
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.42
5	ソニーグループ	電気機器	2.33
6	日立製作所	電気機器	2.28
7	アドバンテスト	電気機器	2.01
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.87
9	東京エレクトロン	電気機器	1.76
10	東京海上ホールディングス	保険業	1.55

●組入上位10業種

No.	業種名	組入比率(%)
1	電気機器	20.07
2	銀行業	11.96
3	卸売業	7.68
4	情報・通信業	6.36
5	機械	5.28
6	輸送用機器	5.17
7	サービス業	4.86
8	化学	4.57
9	小売業	3.99
10	保険業	3.82

●市場動向

国内株式市場は下落しました。上旬は、AI・半導体関連株への買いが優勢となり上昇した後、原油高が嫌気されて上げ幅を縮小しました。中旬以降は、米新興AI企業の資金調達とAI過剰投資への懸念からAI・半導体関連株が売られ、下落しました。

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界アセット30型

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】	【設定・運用】
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)	アセットマネジメントOne株式会社

■DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)の主たる投資対象である投資信託の運用状況

【資産クラス】	【マザーファンド】
国内債券	国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

2026年10月30日現在

※比率は組入債券評価額に対する割合です。

●純資産総額

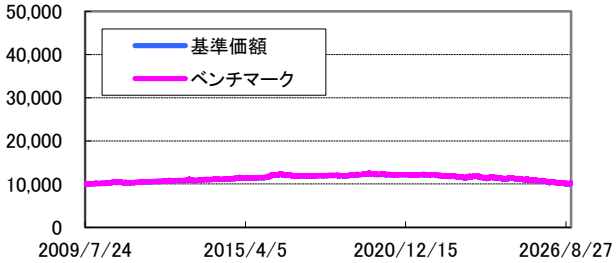
439,909 百万円

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	1.76%	0.48%	-0.63%	-5.20%	-9.23%	2.06%
ベンチマーク	1.76%	0.48%	-0.65%	-5.23%	-9.22%	2.53%
差	-0.00%	0.01%	0.02%	0.03%	-0.01%	-0.47%

※設定来の騰落率は設定日(2009年7月27日)前日を基準に算出しています。
※ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

●基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは設定日(2009年7月27日)前日の値を10,000として指数化しております。

●組入上位10銘柄

(組入銘柄:600銘柄)

No	銘柄	比率(%)
1	３５０回　利付国庫債券（１０年）	1.26
2	３６９回　利付国庫債券（１０年）	1.21
3	３７２回　利付国庫債券（１０年）	1.03
4	３５１回　利付国庫債券（１０年）	0.98
5	３５４回　利付国庫債券（１０年）	0.98
6	３８３回　利付国庫債券（10年）	0.97
7	３６８回　利付国庫債券（１０年）	0.96
8	３７１回　利付国庫債券（１０年）	0.95
9	３７４回　利付国庫債券（10年）	0.93
10	３７７回　利付国庫債券（10年）	0.92

●セクター別比率

	比率
国債	88.50%
地方債	4.90%
金融債	0.00%
政保債	0.89%
社債	4.95%
円建外債	0.00%
ＭＢＳ	0.77%
ＡＢＳ	0.00%
合計	100.00%

●ポートフォリオの状況

	当ファンド
平均複利利回り	2.57%
平均クーポン	1.05%
平均残存期間（年）	8.84
修正デュレーション	7.66

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

●市場動向

国内債券市場では、10年国債利回りは低下(価格は上昇)しました。上旬は、米金利の高止まりや根強い国内のインフレ圧力への懸念から高水準で推移した後、米金利低下に伴い低下しました。中旬以降は、AI関連株安を受けたリスク回避の国債買いなどから、一段と低下しました。

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】世界アセット30型

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

■DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)の主たる投資対象である投資信託の運用状況

【資産クラス】	【マザーファンド】
外国株式	外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

2026年10月30日現在

※比率は組入株式評価額に対する割合です。
※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

●純資産総額

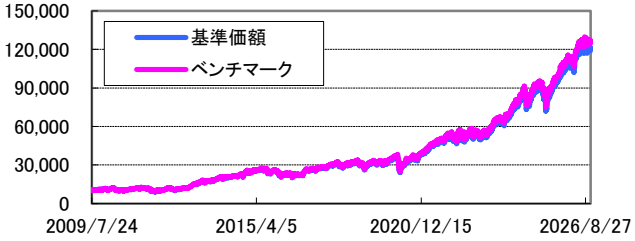
3,002,551 百万円

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ﾌｧﾝﾄﾞ	0.88%	0.61%	5.99%	16.45%	97.83%	1105.68%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	0.85%	0.65%	6.03%	16.68%	99.36%	1162.43%
差	0.02%	-0.04%	-0.04%	-0.23%	-1.53%	-56.75%

※設定来の騰落率は設定日(2009年7月27日)前日を基準に算出しています。
※ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)です。

●基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは設定日(2009年7月27日)前日の値を10,000として指数化しております。

●組入上位10銘柄

(組入銘柄:1083銘柄)

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	5.97
2	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.72
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	4.36
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	大規模小売り	2.75
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	1.94
6	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.82
7	META PLATFORMS INC	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	1.60
8	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	インタラクティブ・メディアおよびサービス	1.53
9	TESLA INC	アメリカ	自動車	1.34
10	ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品	1.28

●市場動向

外国株式市場は米欧でまちまちな動きとなりました。上旬は米国の雇用統計を受けてFRB(米連邦準備理事会)の利上げ観測が後退し、上昇しました。中旬以降は米欧ともに、米新興AI企業の資金調達とAI過剰投資への懸念からAI・半導体関連株が売られ、ヘルスケア株など他業種が買われましたが、狭いレンジでの推移となりました。

●組入上位10カ国

No	国名	比率
1	アメリカ	74.95%
2	カナダ	3.71%
3	イギリス	3.61%
4	スイス	2.72%
5	ドイツ	2.20%
6	フランス	2.08%
7	オランダ	1.85%
8	オーストラリア	1.66%
9	アイルランド	1.63%
10	スペイン	0.92%

●組入上位10業種

No.	業種名	比率
1	半導体・半導体製造装置	13.81%
2	ソフトウェア・サービス	8.83%
3	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.81%
4	資本財	7.54%
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.45%
6	銀行	6.72%
7	金融サービス	6.39%
8	メディア・娯楽	6.08%
9	エネルギー	4.66%
10	一般消費財・サービス流通・小売り	4.39%

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界アセット30型

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】	【設定・運用】
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)	アセットマネジメントOne株式会社

■DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)の主たる投資対象である投資信託の運用状況

【資産クラス】	【マザーファンド】
外国債券	外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

2026年10月30日現在

※比率は組入債券評価額に対する割合です。

●純資産総額

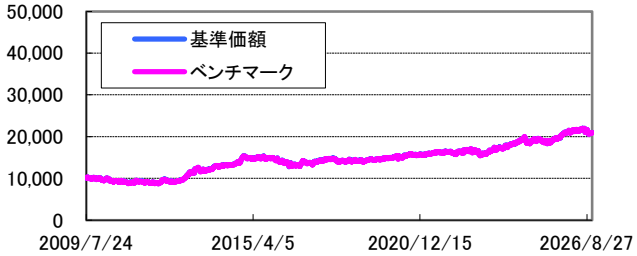
342,655 百万円

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	1.41%	-3.06%	-3.04%	1.66%	21.94%	109.83%
ベンチマーク	1.30%	-3.05%	-3.15%	1.66%	21.94%	109.52%
差	0.11%	-0.01%	0.11%	-0.00%	0.01%	0.31%

※設定来の騰落率は設定日(2009年7月27日)前日を基準に算出しています。
※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース、為替ヘッジなし)です。

●基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは設定日(2009年7月27日)前日の値を10,000として指数化しております。

●組入上位10銘柄

(組入銘柄:1071銘柄)

No	銘柄	通貨	組入比率(%)
1	CHINA GOVERNMENT BOND 1.45 02/25/28	オフショア人民元	0.56
2	US T N/B 4.125 02/15/36	米ドル	0.53
3	US T N/B 4.375 09/15/29	米ドル	0.50
4	US T N/B 4.375 05/15/36	米ドル	0.50
5	US T N/B 4.25 02/15/54	米ドル	0.44
6	US T N/B 3.875 07/15/28	米ドル	0.42
7	US T N/B 4.25 08/15/35	米ドル	0.42
8	CHINA GOVERNMENT BOND 1.26 05/25/29	オフショア人民元	0.42
9	CHINA GOVERNMENT BOND 1.66 08/15/36	オフショア人民元	0.41
10	US T N/B 3.875 08/15/33	米ドル	0.40

●通貨別比率

通貨	比率
米ドル	44.85%
カナダドル	2.12%
メキシコペソ	0.82%
英ポンド	5.79%
デンマーククローネ	0.19%
ノルウェークローネ	0.18%
ユーロ	26.96%
スウェーデンクローネ	0.19%
ポーランドズロチ	0.69%
オーストラリアドル	1.34%
ニュージーランドドル	0.29%
韓国ウォン	1.92%
シンガポールドル	0.37%
マレーシアリンギット	0.48%
中国元	13.37%
イスラエルシュケル	0.44%
合計	100.00%

●ポートフォリオの状況

	当ファンド
平均複利利回り	4.05%
平均クーポン	3.02%
平均残存期間(年)	7.76
修正デュレーション	5.91

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

●市場動向

外国債券市場では、10年国債利回りはフランスを除き多くの国で低下しました。米国では、上旬は米景気の底堅さが示される中で利回りは高水準で推移した後、中旬以降はAI・半導体関連株安に伴うリスク回避の国債買いから低下しました。欧州ではフランス財政に対する懸念が高まる中で、フランス国債が売られる一方、安全資産需要からドイツ国債が買われるなど、フランス以外の多くの国の利回りは低下しました。
ドル/円相場は、月前半は中東情勢緊迫化の懸念や原油価格の上昇から円安ドル高が進展しましたが、その後、下旬にかけてAI関連の巨額設備投資への懸念などから安全資産として円が買われて円高ドル安に進み、月を通しては横ばいでの推移となりました。ユーロはドルおよび円に対して下落しました。

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界アセット30型

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

■DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)の主たる投資対象である投資信託の運用状況

【資産クラス】	【マザーファンド】
外国債券(為替ヘッジあり)	為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

2026年10月30日現在

※比率は組入債券評価額に対する割合です。

●純資産総額

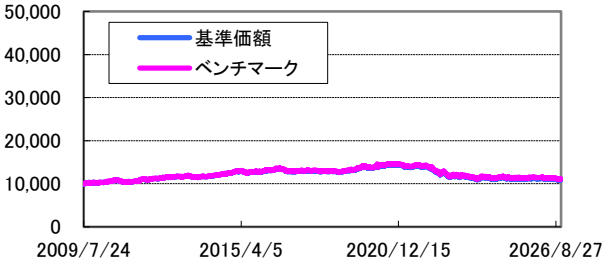
259,789 百万円

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ﾌｧﾝﾄﾞ	1.26%	-0.88%	-1.26%	-2.93%	-0.42%	9.12%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	1.28%	-0.89%	-1.24%	-2.92%	0.01%	11.56%
差	-0.02%	0.01%	-0.02%	-0.01%	-0.43%	-2.44%

※設定来の騰落率は設定日(2009年7月27日)前日を基準に算出しています。
※ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース、為替ヘッジあり)です。

●基準価額の推移



※基準価額およびベンチマークは設定日(2009年7月27日)前日の値を10,000として指数化しております。

●組入上位10銘柄

(組入銘柄:1087銘柄)

No	銘柄	通貨	比率(%)
1	US T N/B 4.25 11/15/34	米ドル	0.84
2	CHINA GOVERNMENT BOND 1.23 08/25/29	オフショア人民元	0.60
3	US T N/B 4.25 08/15/29	米ドル	0.57
4	US T N/B 3.875 08/15/40	米ドル	0.57
5	US T N/B 3.875 08/31/32	米ドル	0.54
6	US T N/B 3.125 08/31/29	米ドル	0.47
7	CHINA GOVERNMENT BOND 1.66 03/25/33	オフショア人民元	0.47
8	US T N/B 4.875 10/31/30	米ドル	0.46
9	US T N/B 4.625 09/30/30	米ドル	0.46
10	US T N/B 4.125 08/31/30	米ドル	0.45

●通貨別比率

通貨	比率
米ドル	44.85%
カナダドル	2.11%
メキシコペソ	0.80%
英ポンド	5.78%
デンマーククローネ	0.19%
ノルウェークローネ	0.18%
ユーロ	26.99%
スウェーデンクローネ	0.19%
ポーランドズロチ	0.69%
オーストラリアドル	1.35%
ニュージーランドドル	0.29%
韓国ウォン	1.91%
シンガポールドル	0.37%
マレーシアリンギット	0.50%
中国元	13.37%
イスラエルシュケル	0.43%
合計	100.00%

※上記比率は為替ヘッジを行う前のものを表示しております。

●ポートフォリオの状況

	当ファンド
平均複利利回り	4.05%
平均クーポン	3.06%
平均残存期間(年)	7.76
修正デュレーション	5.92

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

●市場動向

外国債券市場では、10年国債利回りはフランスを除き多くの国で低下しました。米国では、上旬は米景気の底堅さが示される中で利回りは高水準で推移した後、中旬以降はAI・半導体関連株安に伴うリスク回避の国債買いから低下しました。欧州ではフランス財政に対する懸念が高まる中で、フランス国債が売られる一方、安全資産需要からドイツ国債が買われるなど、フランス以外の多くの国の利回りは低下しました。

○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
○当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
○投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
DIAM世界アセットバランスファンド4VA（適格機関投資家限定）

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

■東証株価指数(TOPIX)の指数値および東証株価指数(TOPIX)にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、東証株価指数(TOPIX)の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

■NOMURA-BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に属しており、また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

■FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
〇当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
〇投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
〇当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
〇当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
〇投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。